

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市民活動支援センター	
条例上の設置目的	千葉市民活動支援センター設置管理条例（抄） 第1条 本市は、市民公益活動（本市において不特定かつ多数のもの利益の増進に寄与することを目的として行われる活動をいう。）の促進を図るため、次のとおり千葉市民活動支援センターを設置する。	
	名 称	位 置
	千葉市民活動支援センター	千葉市中央区中央2丁目5番1号
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	当該施設におけるボランティア情報の提供や相談事業の利用を通じて、ボランティア団体の支援や市民のボランティアを始めるきっかけづくりをすることで、市民公益活動を促進していくこと。	
ミッション （施設の社会的使命や役割）	【市民公益活動の拠点施設】 （1）市民公益活動のための施設の提供 （2）市民公益活動に関する情報の収集及び提供 （3）市民公益活動を行うもの相互の間及び市民公益活動を行うものと関係機関との間の交流及び連携の促進 （4）市民公益活動に関する相談	
制度導入により見込まれる効果	民間の視点を活かした、施設のより効率的な活用と利用者への柔軟な対応による、施設利用者の増加と、市民のボランティア活動・市民公益活動への参加促進。 また、民間のノウハウを活かすことで、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした継続的なボランティア活動を促す。	
成果指標※	①施設利用者数 ②会議室利用件数 ③談話室利用件数 ④登録団体数 ⑤ボランティア募集情報掲出数 ⑥講座等参加者数	
数値目標※	①17,170 ②750 ③760 ④800 ⑤710 ⑥500	
所管課	市民局 市民自治推進部 市民自治推進課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	特定非営利活動法人まちづくり千葉
構成団体 （共同事業体の場合）	
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉市中央区中央3丁目12番12号
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年）
選定方法	公募
非公募理由	
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	R5年度実績	達成率※
施設利用者数	17,170人	10,779人	62.8%
会議室利用件数	750件	645件	86.0%
談話室利用件数	760件	646件	85.0%
登録団体数	800団体	758団体	94.8%
ボランティア募集情報掲出数	710件	407件	57.3%
講座等参加者数	500人	229人	45.8%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指標	R5年度実績
専門家による個別相談件数	18件

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	R5年度	【参考】 R4年度	計画実績差異・要因分析			
			差異		主な要因	
指定管理料	実績	19,920	19,920	実績-計画	0	
	計画	19,920	19,920	計画-提案	0	
	提案	19,920	19,920			
利用料金収入	実績	0	0	実績-計画	0	
	計画	0	0	計画-提案	0	
	提案	0	0			
その他収入	実績	0	0	実績-計画	0	
	計画	0	0	計画-提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	19,920	19,920	実績-計画	0	
	計画	19,920	19,920	計画-提案	0	
	提案	19,920	19,920			

イ 支出

(単位：千円)

費目	R5年度	【参考】 R4年度	計画実績差異・要因分析			
			差異		主な要因	
人件費	実績	13,725	12,392	実績-計画	475	最低賃金の改定によるスタッフの時間単価の上昇に伴う増
	計画	13,250	12,480	計画-提案	710	スタッフの勤務時間の増加、及び時間単価の上昇を予測したことに伴う増
	提案	12,540	12,480			
事務費	実績	5,766	5,323	実績-計画	△74	印刷製本費を削減したことによる減
	計画	5,840	6,008	計画-提案	△8	各経費の見直しによる減
	提案	5,848	5,908			
管理費	実績	0	51	実績-計画	△100	修繕費の減
	計画	100	100	計画-提案	△100	修繕費の見直しによる減
	提案	200	200			
委託費	実績	511	1,029	実績-計画	△219	市民活動フェスタに係る業務委託費を削減したことによる減
	計画	730	1,332	計画-提案	△602	各事業における業務委託費の見直しによる減
	提案	1,332	1,332			
その他事業費	実績	0	0	実績-計画	0	
	計画	0	0	計画-提案	0	
	提案	0	0			
間接費	実績	0	0	実績-計画	0	
	計画	0	0	計画-提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	20,002	18,795	実績-計画	82	
	計画	19,920	19,920	計画-提案	0	
	提案	19,920	19,920			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

特になし。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		R5年度	【参考】 R4年度
自主事業収入	実績	542	502
その他収入	実績	0	0
合計	実績	542	502

イ 支出

(単位：千円)

費目		R5年度	【参考】 R4年度
人件費	実績	126	125
事務費	実績	281	321
管理費	実績	0	0
委託費	実績	0	0
使用料	実績	0	0
事業費	実績	0	0
利用料金	実績	0	0
その他事業費	実績	0	0
間接費	実績	0	0
合計	実績	407	446

間接費の配賦基準・算定根拠

特になし。

(3) 収支状況

(単位：千円)

		R5年度	【参考】R4年度
必須業務	収入合計	19,920	19,920
	支出合計	20,002	18,795
	収支	△82	1,125
自主事業	収入合計	542	502
	支出合計	407	446
	収支	135	56
総収入		20,462	20,422
総支出		20,409	19,241
収支		53	1,181
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数	D	
会議室利用件数	C	
談話室利用件数	C	
登録団体数	C	
ボランティア募集情報掲出数	E	
講座等参加者数	E	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
- B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
- C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
- D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
- E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
- B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
- C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
- (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
- －：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	C	受付時の名簿管理、メール発信時の宛名の確認など、年間を通じて個人情報の保護に留意した。団体紹介に際しては、開示の文案を団体にメール送信し、確認の返事を受けてから開示している。
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	C	C	提案どおりの執行体制で施設管理に取り組んでいる。
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	C	C	施設・設備に不具合が生じないよう管理会社との連絡を密にとっている。館内の紙折機・印刷機については、スタッフでできる範囲の部品清掃やメンテナンスを日常的に行って、維持管理に努めている。
施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	B	B	開館時間は、条例に規定する時間(18時)に加え、提案のとおり平日及び土曜日は21時までの延長を実施している。
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免 利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	C	C	登録団体の情報につき、確認できた団体から随時、ホームページへの開示を行っている。 利用者アンケートの質問項目を見直し、施設への要望、情報の提供、利用に際しての希望などについて新たな切り口から利用者の意見を集めるようにした。
利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	C	C	<p>昨年度は全6回の講座を1期開催した「ちばボランティア塾」について、今年度は、幅広い層の参加を受け入れることを目的に、開催の曜日と時間帯を変え、木曜夜間と土曜午前に1期ずつ合計2期(全12回)開催した。</p> <p>市民活動フェスタでは、これまで実施していた「きぼーるアトリウム」での開催に加え、市役所の公共空間「市民ヴォイド」での新プログラムを試行し、団体の交流の場とした。</p> <p>情報誌「ちばさぼ通信」の表紙には、登録団体の活動を伝える写真を掲載し、中面の記事とともに、団体を紹介することで、他団体の活動を知り、団体同士が相互に知り合う機会を提供している。</p> <p>マッチングカタログは、広く一般にボランティアや市民活動への参加のきっかけづくりとしてもらうために発行している。こうした目的を案内しながら団体に掲載を呼びかけた結果、掲載団体数が過去最多の31団体となった。</p>
施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施			
4 その他	C	C	全職員を市内在住者から雇用している。物品の調達は、すべて市内業者に発注している。
市内業者の育成			
市内雇用への配慮 障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

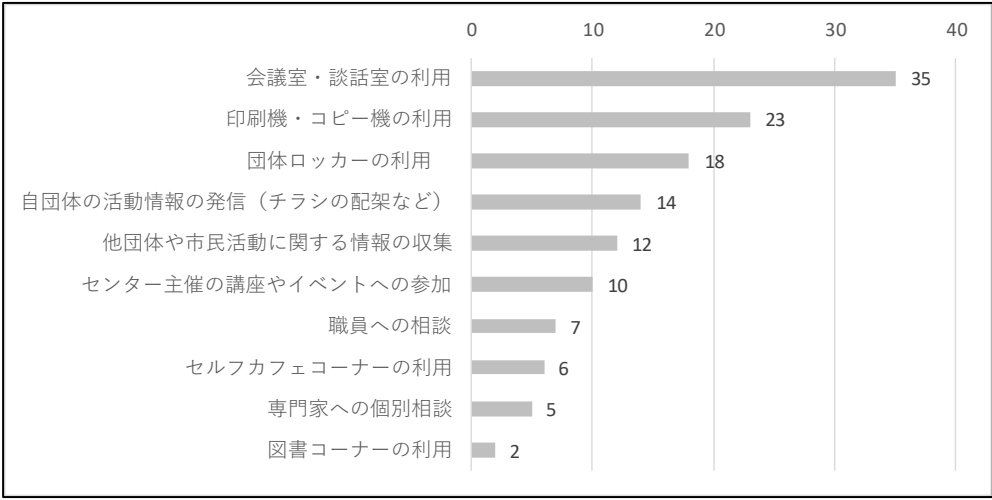
- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

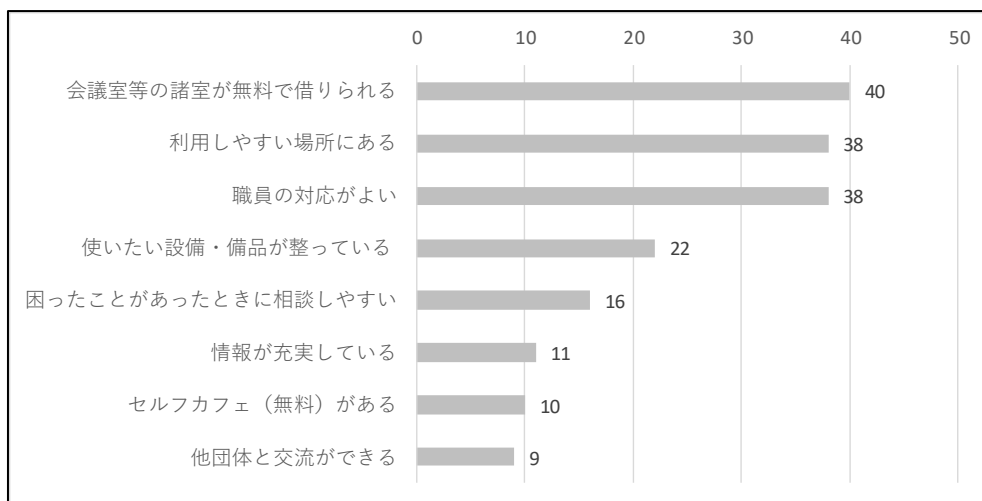
意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
(ア) SNS等の情報発信について、速やかな更新に努められたい。	令和4年度	<p>令和5年8月に、千葉市民活動支援センターの公式LINEを開設。広く認識してもらえるよう、「ちばさぼ通信」の表紙には登録用の二次元コードを掲載している。公式LINEには、講座やイベントが企画される都度、案内を掲載している。</p> <p>Facebook ページは、令和4年度中に20回（月平均約1.7回）投稿したのに対し、令和5年度中には31回（月平均約2.6回）投稿をした。</p>
(イ) 情報管理について、引き続き注意をし、再発防止に努められたい。	令和4年度	<p>令和4年度のセンター職員及びNPO法人の担当者の姓の情報が含まれるメールをセンターのメールマガジンの送信先へ誤送信した事案を受け、メールの宛先登録をメールアドレスのみでなく日本語表記でも行うなど、誤送信のリスク低減に努めている。</p> <p>また、職員会議において、個人情報の扱いやマニュアルの内容確認を行い、個人情報保護についての意識を共有し、再発防止に努めている。</p> <p>日々の業務では、講座の受付などの際に情報が部外者の目に触れないよう、改めて手順を確認している。</p>
(ウ) 指定管理者の財務状況について、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、留意すべき事項はあるものの、直ちに倒産、撤退のリスクはないと判断される。	令和4年度	<p>指定管理者である特定非営利活動法人まちづくり千葉の財務状況については、依然として正味財産合計のマイナス状態が続いており、前年度との比較でも、マイナス金額が増加している。</p> <p>令和5年度には、会計事務所より申告内容に齟齬があるとの連絡を受け、急遽、修正申告を行い納税した経緯がある。</p> <p>今後については、適切な会計処理を行うとともに、財務状況の安定化に向け一層努力していく。</p>

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・調査票（QRコードも掲載）の館内への配架と、来館者への回答の呼びかけ ・登録団体への調査票の郵送 ・メーリングリストへ調査票の添付、およびインターネット上のアンケート回答フォームのURLを記載しての回答依頼の発信 ・ホームページへの回答依頼記事の投稿 																						
	回答者数	第1回：51件、第2回：61件																						
	質問項目	第1回：選択式3問、自由記述2問、選択式と自由記述の複合1問 第2回：選択式4問、自由記述2問（※下記を参照）																						
結果	<p>●2023年度 第1回利用者アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：2023年11月1日～12月15日 ・回答数：51件（うち、webからの回答は30件） <p>※調査票を登録団体に郵送し、センター内に配架もした他、ホームページ上のアンケートフォームからも回答できるようにした。調査票にはQRコードを載せて、スマートフォンからでも回答がしやすいようにした。また、施設に来所した団体に回答のお願いをした他、登録団体のメーリングリスト宛てに、回答を依頼するメールを発信した。</p> <p>◇集計の結果報告</p> <p>Q1. どのような用途や目的で当センターを利用されていますか。（複数選択可）</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途や目的</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会議室・談話室の利用</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>印刷機・コピー機の利用</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>団体ロッカーの利用</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>自団体の活動情報の発信（チラシの配架など）</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>他団体や市民活動に関する情報の収集</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>センター主催の講座やイベントへの参加</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>職員への相談</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>セルフカフェコーナーの利用</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>専門家への個別相談</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>図書コーナーの利用</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		用途や目的	回答数	会議室・談話室の利用	35	印刷機・コピー機の利用	23	団体ロッカーの利用	18	自団体の活動情報の発信（チラシの配架など）	14	他団体や市民活動に関する情報の収集	12	センター主催の講座やイベントへの参加	10	職員への相談	7	セルフカフェコーナーの利用	6	専門家への個別相談	5	図書コーナーの利用	2
	用途や目的	回答数																						
会議室・談話室の利用	35																							
印刷機・コピー機の利用	23																							
団体ロッカーの利用	18																							
自団体の活動情報の発信（チラシの配架など）	14																							
他団体や市民活動に関する情報の収集	12																							
センター主催の講座やイベントへの参加	10																							
職員への相談	7																							
セルフカフェコーナーの利用	6																							
専門家への個別相談	5																							
図書コーナーの利用	2																							
<p>* 「その他」の自由記述に記載された主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークルの練習場として利用。 ・小人数の打合せや作業に使っている。 ・毎月の例会で会議室を使用している。 																								

Q2. 当センターの魅力だと思えることを教えてください。(複数選択可)



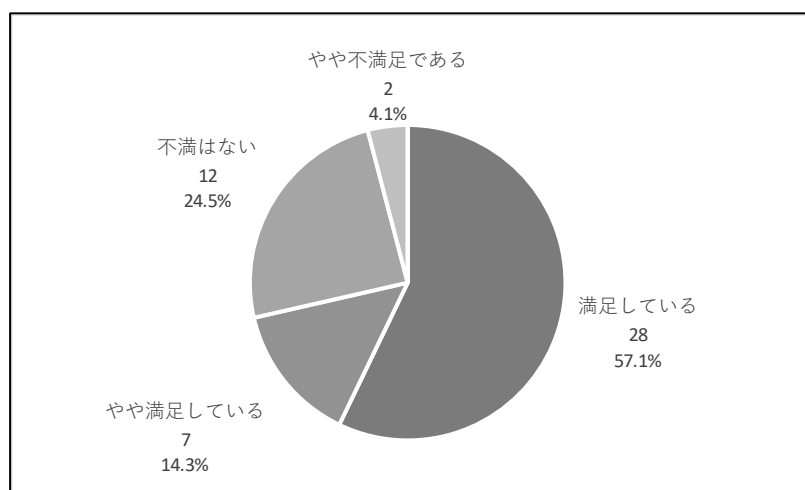
* 「その他」の自由記述に記載された主な内容

- ・ 役員の打合せなどに、テーブル席はありがたい。
- ・ Wi-Fi があるので便利。

Q3. 以下について、それぞれの満足度を教えてください。

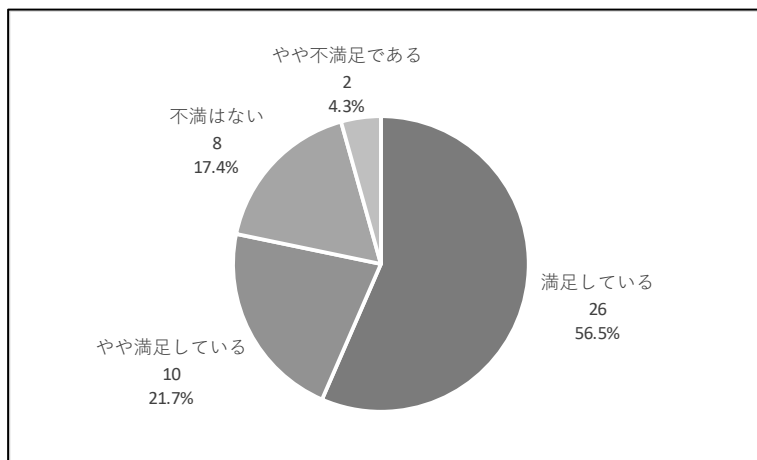
1. 施設の貸出し（※会議室、談話室、活動サロン、打合せテーブル など）

(5)満足している:28(57.1%) (4)やや満足している:7(14.3%) (3)不満はない:12(24.5%)
 (2)やや不満足である:2(4.1%) (1)不満足である:0(0%)



2. 設備の貸出し（※印刷機、紙折機、カラーコピー機、ロッカー、Wi-Fiなど）

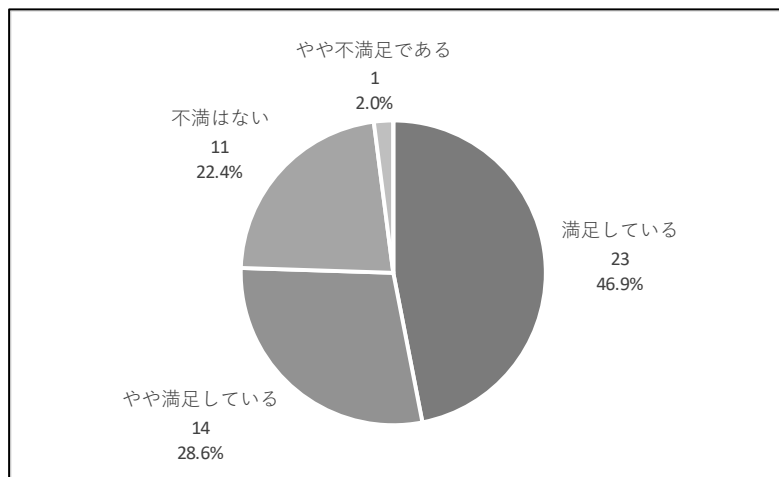
(5)満足している:26(56.5%) (4)やや満足している:10(21.7%) (3)不満はない:8(17.4%)
 (2)やや不満足である:2(4.3%) (1)不満足である:0(0%)



3. 市民活動に関する情報提供

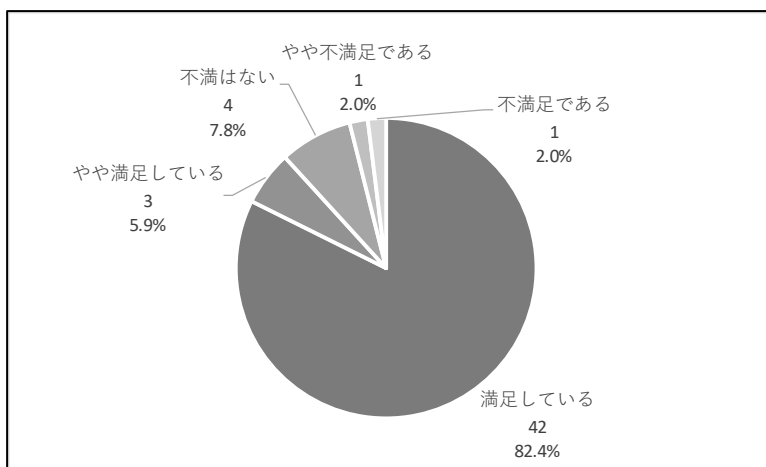
(情報提供として、講座等の情報、ボランティア募集情報、ちばさほ通信の発行、メールマガジンの発行、SNS・HPの運営などを実施しています。)

(5)満足している:23(46.9%) (4)やや満足している:14(28.6%) (3)不満はない:11(22.4%)
 (2)やや不満足である:1(2.0%) (1)不満足である:0(0%)



4. 職員の対応（※電話やメールでの問合せへの対応、来館時の接客など）

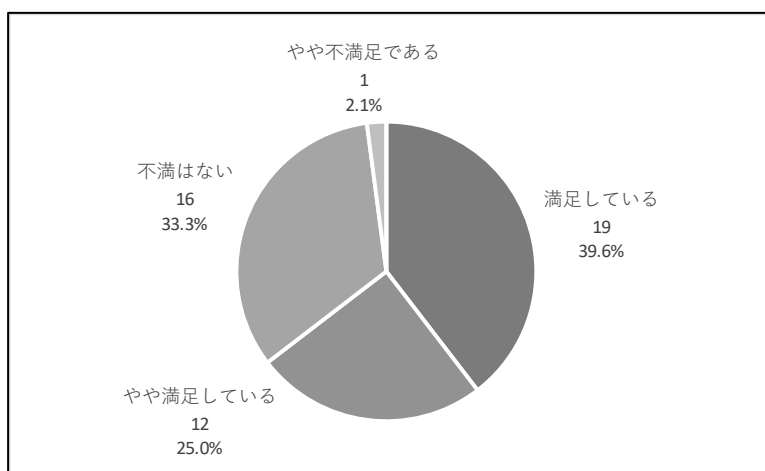
(5)満足している:42(82.4%) (4)やや満足している:3(5.9%) (3)不満はない:4(7.8%)
 (2)やや不満足である:1(2.0%) (1)不満足である:1(2.0%)



5. センター主催の講座・イベントや相談事業

(ちばボランティア塾、ステップアップ講座、市民活動フェスタ、市民活動交流サロン、専門家による個別相談などを実施しています。)

(5)満足している:19(39.6%) (4)やや満足している:12(25.0%) (3)不満はない:16(33.3%)
 (2)やや不満足である:1(2.1%) (1)不満足である:0(0%)

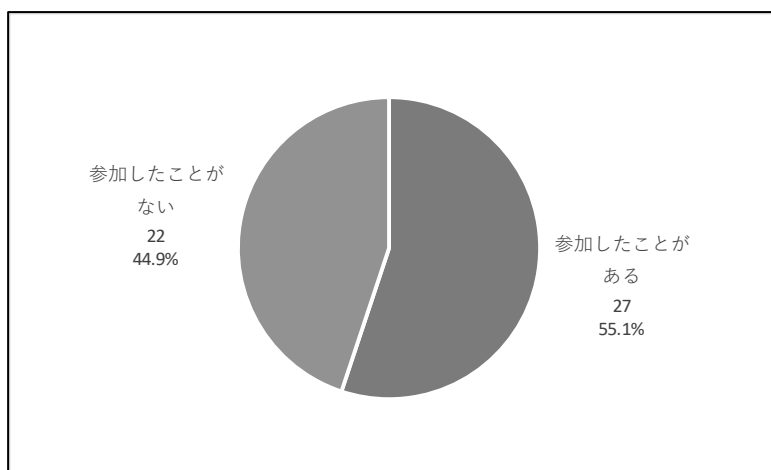


* 自由記述に記載された主な内容

- ・予約が4ヶ月前で、会議の予定には、間に合わないことが多い。
- ・利用しやすいところにあり、有難いが、困ることは、近隣の駐車料金が高い。
- ・講師の派遣、他団体との交流のコンタクト等で非常に助かっている。
- ・部屋の数が少ないため、必要な時に空いているとは限らない。
- ・印刷機とWi-Fiを最新のものに更新してほしい。
- ・職員の方の対応が大変丁寧で感じがいい。
- ・相手を思い対応してくれる、ありがたい。

Q4. 当センターで主催する講座・イベントに参加したことがありますか。

(a)参加したことがある27(55.1%) (b)参加したことがない:22(44.9%)



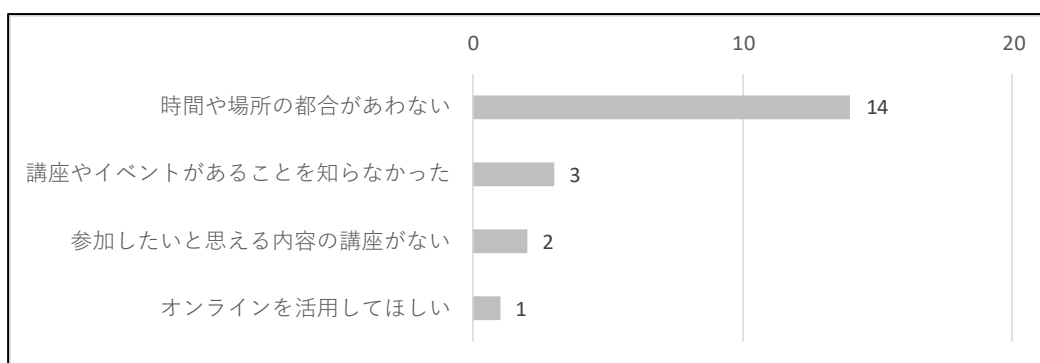
Q4-2 参加したことがある方にお伺いします。参加した中で、特に面白かった・印象に残っている講座またはイベントの内容を教えてください。

***自由記述に記載された主な内容**

- ・助成金や情報通信に関する講座、SNSの活用。
- ・ゲーム性のある講座は印象に残った。
- ・NPOと地域団体のこと（講師：生越さん）、SDGs関連。
- ・ボラ塾の講師に、当方でも講演いただいた。
- ・チラシ作りの講座。“呼びかけ対象を決める”など参考になった。
- ・町内会の問題の相談。
- ・フェスタで他の団体と交流が出来たこと。マルシェ。

Q4-3 参加したことがない方にお伺いします。参加しなかった理由を教えてください。

(複数選択可)



***「その他」の自由記述に記載された主な内容**

- ・住まいが遠いため参加しにくい。
- ・自分たちの会の運営で精いっぱい。

Q5. どのような講座やイベントがあったら参加したいですか。

***自由記述に記載された主な内容**

- ・団体の運営や法務に関すること。
- ・平日の夜が参加しやすいですが、できれば日程が早く分かった方がよい。
- ・チラシの作成方法。
- ・自治会とNPOの連携。
- ・団体を紹介し新規メンバーを勧誘できるイベント。
- ・PCでのホームページの立ち上げや運営・管理について。
- ・ひきこもり等の社会復帰のためのボランティア講座。
- ・助成金についての情報、取得のコツ。
- ・SNSを通じた呼びかけのノウハウなど基礎的なことから。
- ・SDGsについての講座。
- ・オンライン講座。
- ・ボランティアの交通費補助の扱い、会計の処理など。

Q6. その他、当センターの事業についてご意見・ご要望・ご感想などをお聞かせください。

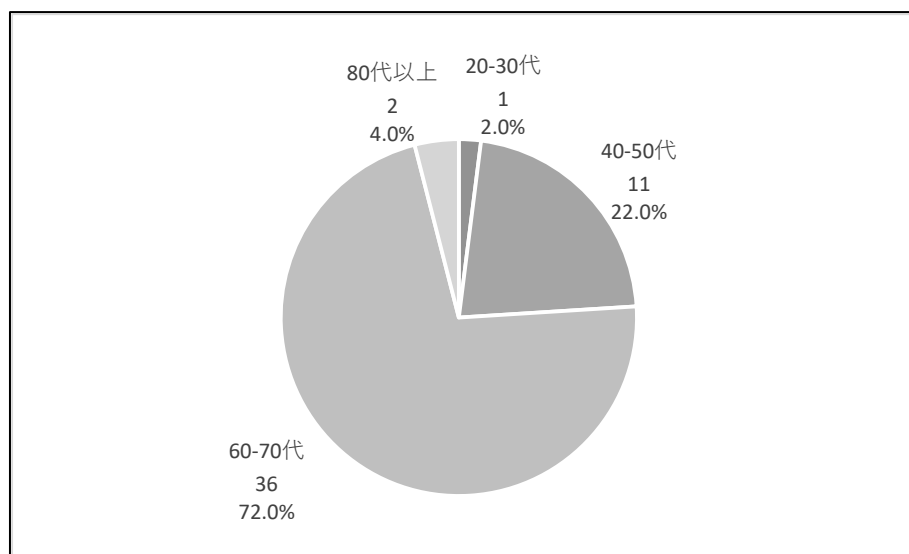
***自由記述に記載された主な内容**

- ・フェスタは日程だけでも早くわかると助かる。
- ・もっと色んな講座をやって欲しい。
- ・活動拠点・交流拠点としてありがたく利用している。
- ・部屋が少ない。人数が多いときに困る。
- ・印刷機はハーフトーンの再現がまいち。
- ・フェスタの参加者が増える方策を考えてほしい。
- ・ヒューマンライブラリーを充実させてほしい。

Q7. 以下については、差し支えない範囲で結構ですので、教えてください。

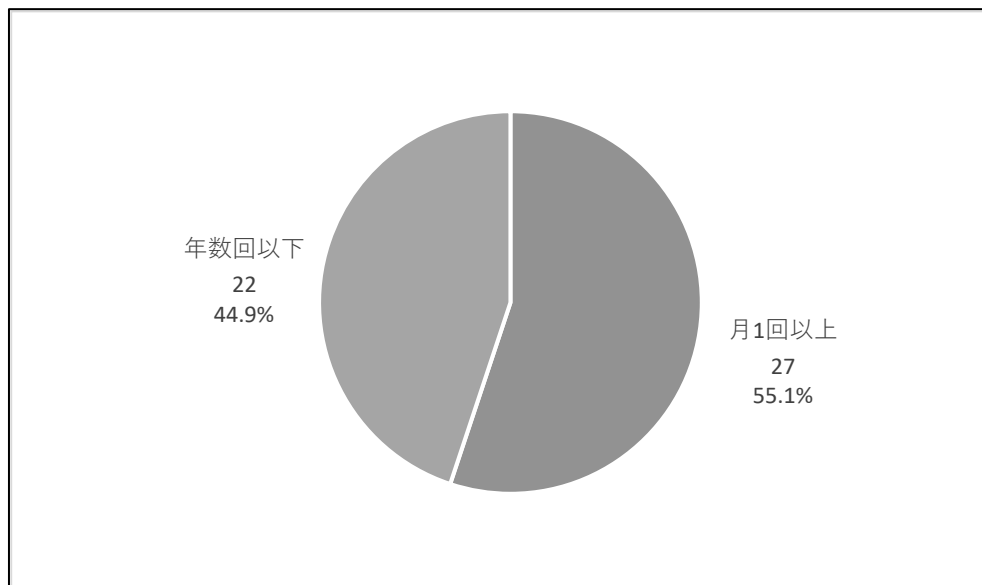
1. 年齢

(a)10代以下:0(0%) (b)20代~30代:1(2.0%) (c)40代~50代:11(22.0%)
 (d)60代~70代:36(72.0%) (e)80代以上:2(4.0%)



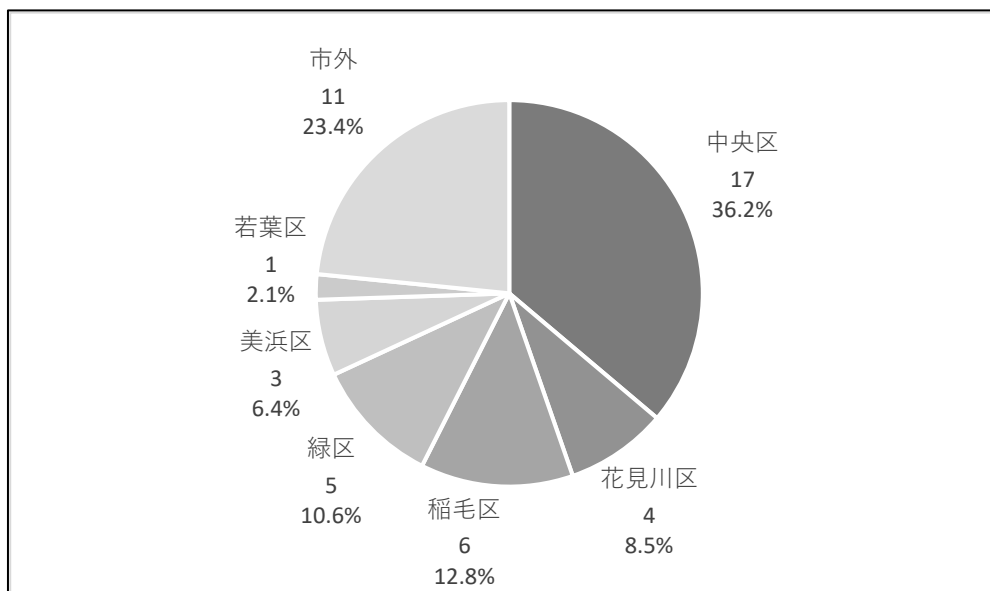
2. 利用の頻度

(a)週1回以上:0(0%) (b)月1回以上:27(55.1%) (c)年数回以下:22(44.9%)



3. お住まい

(a)中央区:17(36.2%) (b)花見川区:4(8.5%) (c)稲毛区:6(12.8%)
 (d)緑区:5(10.6%) (e)美浜区:3(6.4%) (f)若葉区:1(2.1%)
 (g)市外:11(23.4%)



◇アンケート結果の分析

- ・センターの利用用途・目的についての設問（Q1）への回答は、「会議室・談話室の利用」が35件と最も多く、次いで「印刷機・コピー機の利用」が23件であった。センターの魅力を問う設問（Q2）への回答は、「諸室が無料で借りられる」が40件と最も多かった。諸室が無料であることと共に、印刷機の利用料金、並びにカラーコピーの利用料金について他と比べて若干安価な設定にしている点も、財政が潤沢とはいえない多くの市民活動団体に評価されている。また、会場探しに苦慮する団体は多く、周辺に無料・安価の施設が減少していることから、今後も会議室・談話室の需要は高まると推察される。きぼ一内のボランティア活動室を利用する団体や、コミュニティセンターを利用中の団体にセンターの存在を案内することを検討し、より幅広い市民公益活動のサポートにつなげていきたい。
- ・講座・イベントについての設問の自由記述（Q4-2）から、ゲーム性のある講座などが特に印象に残ったようである。また、センターの事業で講演した講師を自団体の活動にもお招きしたとの回答があり、これもセンターが活用される一例かと思う。こうした回答を踏まえて、今後の講座の企画内容を検討していきたい。
- ・講座に参加しなかった理由（Q4-3）として、「自分たちの会の運営で精いっぱい」との記述があったが、これは多くの団体に共通する悩みかと思われる。集客できる講座やイベントの工夫、分野の近い団体どうしの情報交換の機会づくり、分野の違う団体のコラボレーションの提案などを検討し、団体の活性化につながる支援の方法を探っていきたい。

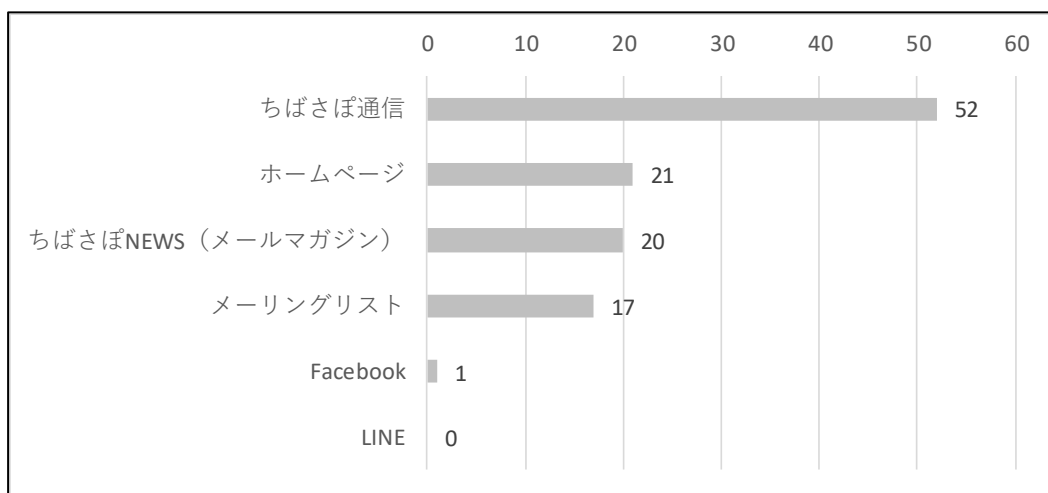
●2023年度 第2回利用者アンケート

- ・実施期間：2024年3月4日～3月31日
- ・回答数：61件（うち、webからの回答は31件）

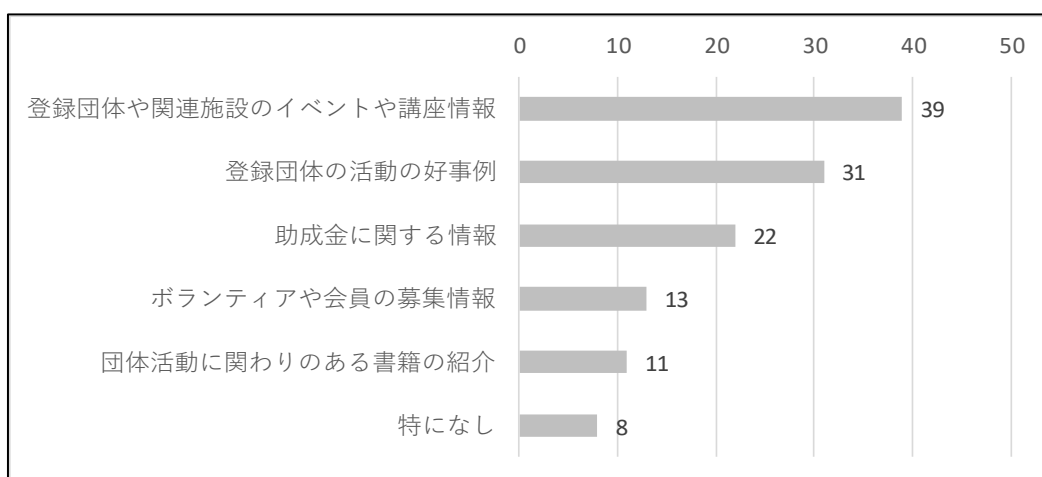
※調査票を登録団体に郵送し、センター内に配架もした他、ホームページ上のアンケートフォームからも回答できるようにした。調査票にはQRコードを載せて、スマートフォンからでも回答がしやすいようにした。また、施設に来所した団体に回答のお願いをした他、登録団体のメーリングリスト宛てに、回答を依頼するメールを発信した。

◇集計結果の報告

Q1 当センターでは活動に関する情報を様々なツールで発信しています。以下のうち、閲覧しているものを教えてください。（複数回答可）



Q2 センターから発信する情報について、どのような情報を発信して欲しいですか。(複数回答可)

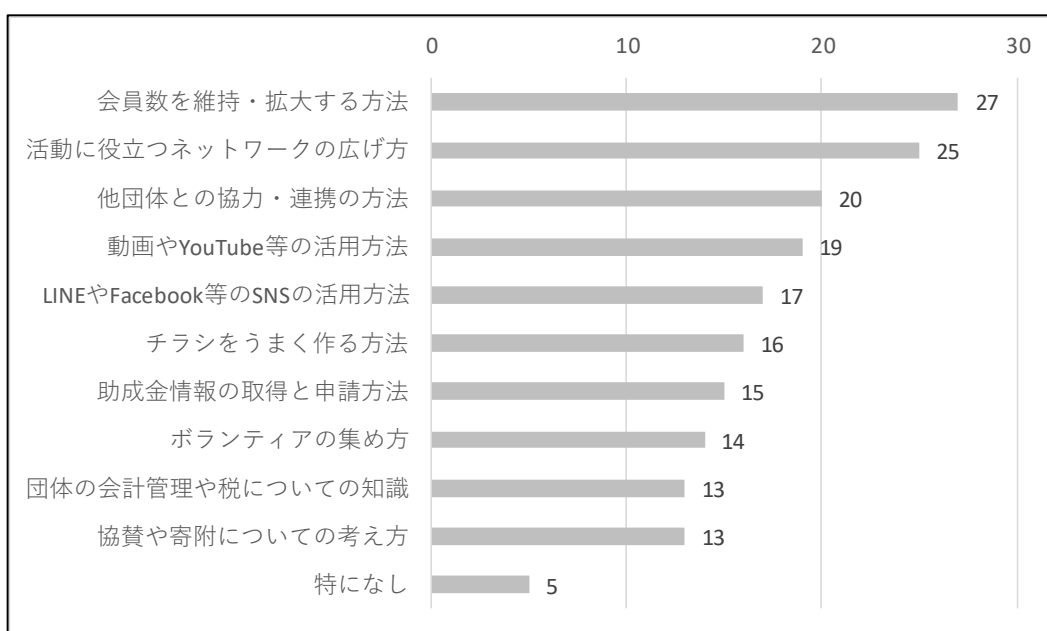


※発信して欲しい情報について、自由にお書きください。

***記載された主な内容**

- ・登録団体や市内外の団体の講座やイベント。
- ・ハイブリッド開催（オンラインと現地の同時開催）の好事例など。
- ・福祉や障害者問題に関する公的な情報（イベント開催、制度の変更やその会議体の開催、支援の仕組みの説明など）。
- ・運営スタッフの確保。
- ・NPO 法人の運営、会計。
- ・集客など活動を行う上で必要な技術などに関する情報がほしいです。
- ・他のボランティア団体の活動の具体的内容、運営方法について。

Q3 貴団体の組織力や運営を良くするために、どのような知識やスキルが得られる講座があると参加したいと思いますか？(複数回答可)

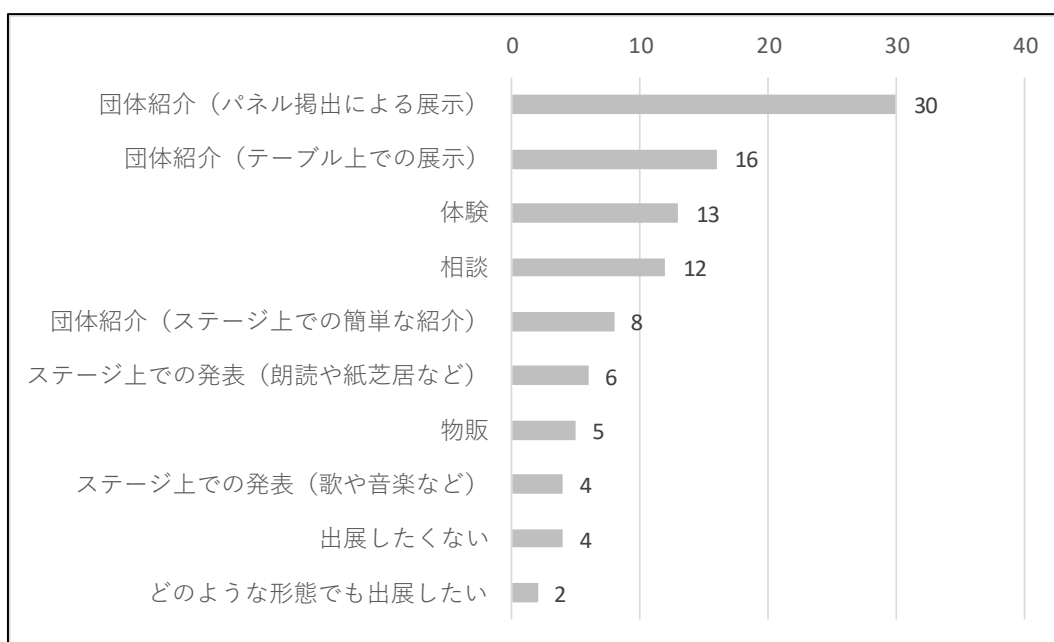


※受講してみたい講座について、自由にお書きください。

***記載された主な内容**

- ・プレゼンテーションの講座。
- ・ホームページ (WordPress) の作成や更新、MS Office などの活用法など。
- ・SNS の活用、チャットの成功事例など。
- ・チラシやポスターを作成。地図の入れ方。
- ・ネットで印刷のポイント、業者について。
- ・動画や YouTube などの作成方法。
- ・ファシリテーション講座。

Q4 当センターでは、「千葉市民活動フェスタ」を毎年開催し、登録団体から出展団体を募集しています。どのような形態であれば出展したいと思いますか。(複数回答可)



***「その他」の自由記述に記載された主な内容**

- ・リタイア後に地域の役に立つ仕事がしたい、多少の収入が得られればもっと良い、という方につながることでできるイベント。
- ・他の団体と交流できるきっかけとなる場。

※フェスタについて、ご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

***記載された主な内容**

- ・抽選会はその団体の活動内容や、メンバーの人柄などが伝わってきて、楽しい。
- ・多くの人に来展してほしい。他のイベントとの共催はどうか。
例) 福祉機器や、介護ロボットの提示会、福祉関係・人権関係の講演会とのコラボなど
- ・現在、活動をしていない人を取り込むのは容易ではないが、それができるといい。
- ・大学生たちへのボランティアの謝礼がお弁当だけではわびしい。予算がなければ出展者から参加料をもらい、それを当てるのも有りか。
- ・NPO 法人どうしの話し合いもあっても良いと思う。

Q5 フェスタについて、団体のPRにもなり、かつ来場者に楽しんでもらうために、貴団体にできそうなアイデアがありましたら教えてください。

***記載された主な内容**

- ・抽選会は団体の紹介&プレゼンを兼ねて、PRをし、抽選して、直接手渡す。
- ・見て触って確認してもらう場としての企画。
- ・お子さんと料理体験、3歳からでもできるレザークラフト。
- ・乳がん患者が治療後も元気に生きられている様子を直接紹介する。
- ・魅力的なマルシェのような物。
- ・バナナのたたき売りなど大道芸は？
- ・海ごみ展示、海でひろった面白いもの。
- ・ミニコンサート。
- ・パラスポーツ体験会。
- ・ウォーキング教室。
- ・ボッチャの体験会をやりたい。
- ・拓本の採り方の実技。
- ・石造物という歴史的文化財において広い情報を持っているのでお役に立てると思います。
- ・簡単なマジック体験（割りばしや輪ゴムを使用）。
- ・「美わーく」と称し、絵具を使った体験コーナー。

Q6 その他、当センターについて、ご意見・ご要望・ご感想などをお聞かせください。

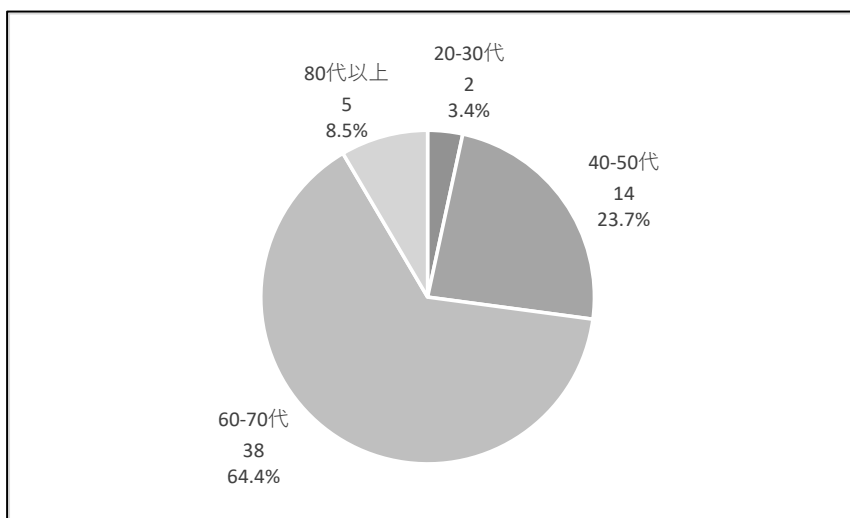
***記載された主な内容**

- ・団体側にとってメリットを感じられる講座を開催してほしい。
- ・定員30～40人ぐらいのもう少し大きい会議室の確保あるいは紹介をお願いしたい。
- ・決してマンネリに陥らないように、新しいことを探り考えてほしい。
- ・公民館のイベント企画担当者にむけて、団体の活動をプレゼンする機会を作してほしい。
- ・何回も見直したり、気になった時すぐ閲覧できるので、紙情報は、まだまだ捨てがたい。メールは即的確ですが、見落としや探し直しに時間がかかる。

Q7. 以下については、差し支えない範囲で結構ですので、教えてください。

1. 年齢

(a)10代以下:0(0%) (b)20代～30代:2(3.4%) (c)40代～50代:14(23.7%)
 (d)60代～70代:38(64.4%) (e)80代以上:5(8.5%)

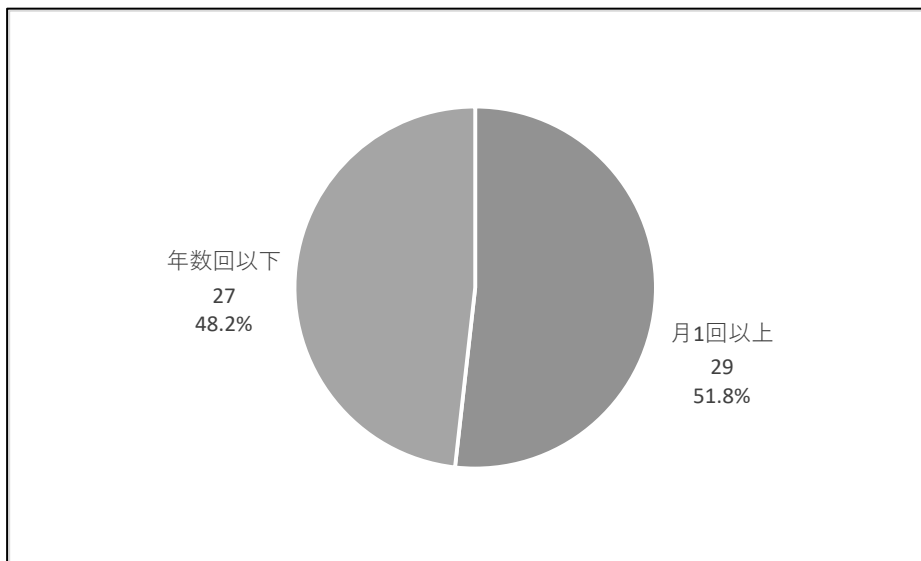


2. 利用の頻度

(a)週1回以上:0(0%)

(b)月1回以上:29(51.8%)

(c)年数回以下:27(48.2%)



3. お住まい

(a)中央区:15(25.4%)

(b)花見川区:6(10.2%)

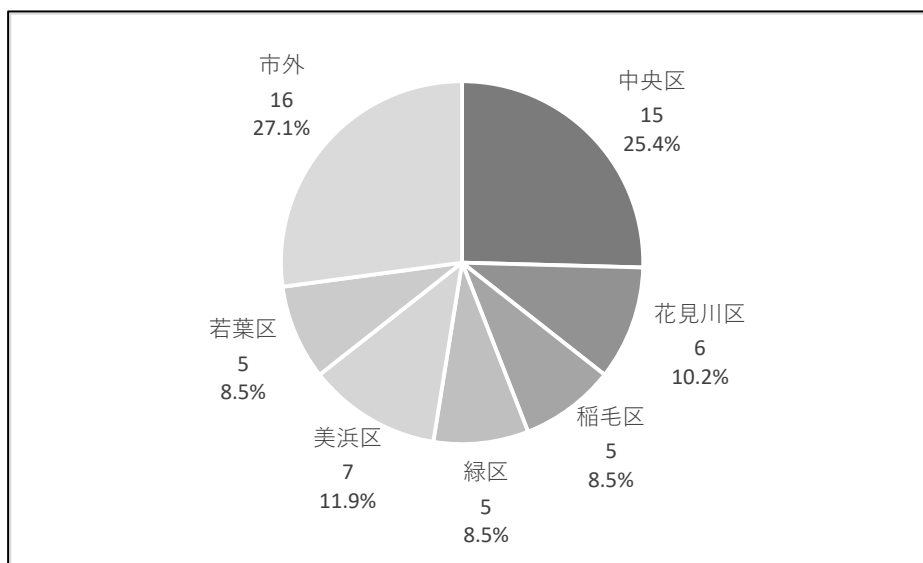
(c)稲毛区:5(8.5%)

(d)緑区:5(8.5%)

(e)美浜区:7(11.9%)

(f)若葉区:5(8.5%)

(g)市外:16(27.1%)



◇アンケート結果の分析

- ・これまでとは設問を変え、情報提供とフェスタに関する意見を主に問うアンケートとした結果、具体的な提案をいただくことができた。
- ・情報発信ツールのうち何を閲覧しているかの設問 (Q1) には、「ちばさぼ通信」という回答が圧倒的に多かった。ただし、参加したい講座に関する設問 (Q3) の自由記述には、ホームページ、SNS、チャット、YouTube などに関する講座に参加したいとの希望もあることから、紙媒体以外の手段を団体も模索しており、市民団体活動も、コミュニケーション手段の「変わり目」を迎えていることが実感される。
- ・フェスタの出展形態に関する設問 (Q4) の回答結果からは、自団体の紹介をしたいとの希望が多いことがわかるが、「他のイベントとの共催 (コラボ) はどうか」との提案もあり、旧来通りの企画内容では、集客が難しいという認識もうかがえる。また、「学生ボランティアへの謝礼がお弁当だけではわびしい (予算がなければ出展団体から参加料をもらってはどうか)」という意見・提案もあったので、これらについて検討をしていきたい。
- ・また Q4 の回答の中に、団体同士の交流を求める意見が複数あった。フェスタの内容を検討する際の参考にするとともに、交流をメインにした別イベントを行うことも視野に入れて考えたい。
- ・フェスタで団体にできそうなアイデアを求める設問 (Q5) には、各団体の得意分野に特化した提案が多く、異なる分野の団体が参加するフェスタにアイデアをどのように取り入れるかについて模索している。
- ・センターへの要望 (Q6) に、「マンネリ化せず新しいことを」との回答があった。広報手段の見直しや、講座等へのオンラインの導入に努めていきたい。

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
特になし	

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者数は、達成率こそ高くはないが、前年度より約 600 人増加した。平日及び土曜は開館時間を午後 9 時までとしており、夜間に会議や研修を行いたい団体のニーズに応えている。 ・会議室及び談話室の利用件数も、前年度より僅かではあるが増加した。直前のキャンセルを減らし、利用件数を増加させるべく、特に当日にキャンセルをした団体には注意を促している。 ・登録団体数の達成率は、6 つの成果指標の中で最も高かったが、前年度比で 3 団体の減少となった。相談などで来所した団体が未登録だった場合などに登録の案内をするなどの改善策をとっている。 ・ボランティア募集情報掲出数は、コロナ禍によりボランティア募集を中止した団体が募集を復活する動きはあまり見られず、前年度より減少してしまった。新たな掲出団体を発掘するべく、方策を検討していきたい。 ・講座等参加者数は、ボランティア養成講座は年度内に 2 期開催（そのうち 1 期は当センター外の定員の多い会議室で開催）した他、市民活動ステップアップ講座のうち 1 回はオンライン方式で開催するなどした結果、前年度より 100 人増加したが、達成率は 6 つの成果指標の中で最も低かった。参加者数を増やすための様々な工夫を続けていきたい。 ・市民活動フェスタについて、初めての試みとして年に 2 回、異なる会場で 1 日ずつ、趣旨も変えて実施した。成果指標の数値に直結はしないかもしれないが、センターのことを広く知ってもらったり、より活用してもらったりするきっかけにもなるので、従来とは違うフェスタの可能性を開いたと考えている。 ・専門家による個別相談は、利用した方（団体）には評価されているものの、件数自体は伸び悩んでいる。周知の視点を変えることも考えていきたい。
----------	---	----	---

(2) 市による評価

総括 評価	D	所見	<p>市民活動フェスタについては、1 日目は「団体間の交流イベント」、2 日目は市民が参加できる「市民活動団体による相談・体験・物販等のイベント」とテーマと会場を変え、提案内容を上回る年 2 回開催し、特設サイトの設置によりオンライン上でもイベントの様子を発信するなど、実施内容に創意工夫を凝らしている。</p> <p>ボランティア養成講座を昨年度は 1 期開催であったのに対し令和 5 年度は実施日時を変えて 2 期開催とし、また公式 LINE の新規開設等、SNS を活用した情報発信を行うなど講座やイベントの参加者数増加に向けた方策を実施したことや、条例に規定する時間に加え午後 9 時まで開館していること、利用者ニーズ把握のために利用者アンケートの項目を見直したこと等について評価している。</p> <p>また、各成果指標の達成状況がすべて目標を下回っていることに対する評価については、前指定管理期間における実績の最大値を基準に目標値を設定したものであり、例えば、登録団体の抹消件数増加においては団体構成員の高齢化が進んでいること、施設利用者数や会議室・談話室利用件数が伸び悩んでいることにおいては新型コロナウイルス感染症による影響が残っていること等の、市民活動団体を取り巻く環境の変化を考慮する必要がある。</p> <p>しかしながら、前年度と比較しても登録団体数やボランティア募集情報掲出数が減少している状況や、施設利用者数等の数値がコロナ禍前ほどには回復していないことについては、施設や事業の PR 方法及び参加者が固定化されていることや多様な主体との連携を促進するような事業に新規性がないことなど、事業の実施内容や周知方法に一部改善の余地があったことによるものとも考えられる。</p> <p>よって、引き続き、市民公益活動の促進という施設設置のビジョンに基づく成果指標の数値目標の達成に向けた具体的な検討や対策を行うなど、状況の改善により一層努めていく必要があると判断した。</p>
----------	---	----	---

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

ア 市の作成した年度評価案の妥当性について

市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。

イ 管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について

(ア) アンケート調査の意見等を参考に、若者がボランティアに参加できる体制づくりや新規利用者獲得の方策を検討されたい。

(イ) 市民活動フェスタについて、より多くの市民が参加できるよう工夫し、次年度以降も実施されたい。

(ウ) 指定管理者の財務状況について、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、3年度連続債務超過であり、倒産・撤退のリスクがあると考えられるため、今後の運営のあり方について、所管課と指定管理者で検討されたい。